

NEWS RELEASE

報道資料

2005年 6月 17日
 (東証第一部 9650)
 テクモ株式会社
TECMO
 東京都千代田区九段北4-1-34
<http://www.tecmo.co.jp>

実写映画版「DEAD OR ALIVE」撮影開始

テクモ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中村 純司、以下、テクモ)は、人気対戦格闘ゲーム「DEAD OR ALIVE®」シリーズを原作とした実写映画の撮影が開始となったことを発表いたしました。

桂林のYuzi Paradise、浙江省のHengdian World Studios等でロケを行っており、香港にて撮影を完了する予定です。

実写映画版「DEAD OR ALIVE」について

監督	Cory Yuen	代表作「トランスポーター」「ロミオ・マスト・ダイ」
脚本	J.F.Lawton	代表作「沈黙の戦艦」「プリティウーマン」
	Adam & Seth Gross	代表作「Devour」
	Granz Henman	代表作「Harte Jungs」
配役		
リュウ	ケイン・コスギ	代表作「マッスルヒート」「ゴジラ FINAL WARS」
かすみ	Devon Aoki	代表作「シン・シティ」「ワイルド・スピード×2」
あやね	Natassia Malthe	代表作「エレクトラ」
ティナ	Jaime Pressly	代表作「クリムゾン・アイランド」
エレナ	Sarah Carter	代表作「デッドコースター ファイナル・デスティネーション2」
クリスティ	Holly Valance	代表作「National Lampoon's Pledge This」
	Matthew Marsden、Eric Roberts	他
制作・配給	Constantin Film	

コメント: Jeremy Bolt (プロデューサー)

「ジェット・リー主演の映画、HEROの撮られたHengdian World Studiosで撮影できることはとても興奮します。ロケーションは壮大で現地スタッフやスタントチームはとにかく素晴らしく、ここにいることをとてもラッキーだと感じています。また、コリー・ユエン監督のキャストのトレーニングは驚くべきものでした。アクション場面は本当に凄いです。」

コメント: ケイン・コスギ (リュウ・ハヤブサ役)

「世界中で大ヒットしている対戦格闘ゲーム『DEAD OR ALIVE』原作の映画に参加でき光栄です。僕にとって、ハリウッド映画出演は目標でした。その一つの目標がかなった喜びと同時に、役柄がこちらでもゲームで世界に名高いアクションゲーム『NINJA GAIDEN』の主演、忍者リュウ・ハヤブサ役として参加出来ることに感激しています。今、すばらしいスタッフ達と中国の壮大なロケ地で順調に撮影中です、日本の皆様、是非映画の公開を楽しみにしててください。」

「DEAD OR ALIVE」シリーズについて

「DEAD OR ALIVE」シリーズは、1996年のアーケード版登場以来、バラエティに富んだ魅力的なキャラクター、斬新なゲームシステムにより人気を博し、多くの家庭用ゲーム機でさらなる人気を獲得した3D対戦格闘ゲームです。シリーズを重ねるごとにグラフィックとゲームシステムを練り上げ、格闘ゲームファンのみならず多くのゲームファンの注目を集めてきました。また、関連タイトルとしてスポーツゲーム『DEAD OR ALIVE Xtreme Beach VolleyBall®』も発売し、シリーズ全世界出荷累計本数は600万本を超えております。

最新作、『DEAD OR ALIVE® 4』は、マイクロソフト社のXbox 360™向けに現在開発中であり、2005年冬に全世界同時期発売を予定しております。

テクモに関する詳細な情報は下記Webサイトを通じて入手できます。

テクモWebサイト <http://www.tecmo.co.jp/>

記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

この件に関する報道関係の方々からのお問い合わせ先

テクモ株式会社

管理統括部 阿部 TEL. 03-3222-7645 FAX. 03-3222-7649